

阿南第九の会

代表 真鍋 一紀

2006年6月、阿南市と羽ノ浦町、那賀川町の合併を記念しての「フロイデコンサート」が阿南市市民会館で行われました。集まった250人を超える市民合唱団は、初心者も多く、練習も大変でしたが、合唱指導の先生方の熱い指導の下、ベーターヴェンの「第九」を歌えるようになり、大きな達成感と感動を得られたコンサートになりました。

終演後、合唱団の中から、この1回で終わるのはもったいない、この感動をもう一度、という声が多く上がり、鳴門「第九」を歌う会や、合唱指導の先生方の協力を得て「阿南第九の会」として、活動しようということになりました。

こうして、「阿南第九の会」の活動がスタートしました。最初の数年は、鳴門の第九演奏会への参加のほか、阿南市や県内各地のイベントで「第九」を歌う機会を探して、経験や活動の幅を広げてきました。

2009年12月には初めて、主催の演奏会を開催することができまし

た。多くの皆さんにお越しいただき、また一つ、達成感を得ることができました。以降、唱歌、ポップス、アニメソング、洋楽などの合唱曲と、ソリストのステージ、そしてピアノ連弾と合唱による「第九」の組み合わせで、定期演奏会として、第11回まで開催することができました。

2020年の定期演奏会の後、新型コロナウイルスが日本全国に広がり、大きな声を出す合唱練習は、特に困難な状況になってしまいました。何度か練習を再開しようとはしましたが、そのたび、感染者が増える状況で、練習を再開できたのは、2022年10月末になってしまいました。

この期間に、合唱団のメンバーも少し減ってしまいました。が、集まった多くのメンバーが練習の再開を心待ちにしています。

おわりに、会の発足に尽力し



ていたいただいた青木宏典さん、指揮と合唱指導を引き受けていただいた豊成哲さん、真鍋美恵さん、会の運営サポートをいただいた鳴門「第九」を歌う会の皆さま、同じ年に発足し、共に歩んできた三好市民第九合唱団の皆さま、そして、これまでにご支援をいただいたすべての方のおかげで、これまで活動を続けてこられました。あらためて、ここに感謝申し上げます。ありがとうございます。

阿南第九の会演奏会歴



した。
定期演奏会の予定はまだ、立てられていませんが、現在、11月5日、夢ホールでの阿南市文化祭の舞台に向け、練習に取り組んでいます。

あなん文化紀行は偶数月号に掲載します。

問い合わせ 文化振興課

☎ 22-11798